

岩室村にお世話になって十年くらいいなものですから、「岩室村」のこともっとよく知りたいと思っ

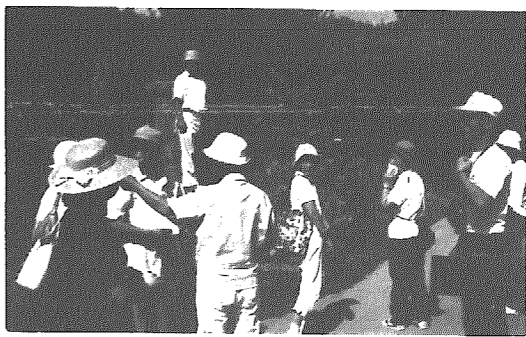


丸山 恭平さん (和納12区・61歳)

村づくりに生かせたら

わたしはもと教員をしていましたので、社会科の副読本づくりに参加したことがあります

ふるさとを知ろうが、村づくりのほらじま



旧間瀬銅山跡では、実際に銅鉱石の採取も

「わが愛するふるさと——岩室村」を再確認して、よりよいふるさとづくりをしようよ」とこの七月からスタートした生涯学習推進事業の「おらが村岩室ふるさと講座」

知っている人は知っているが、知らない人はまったく知らないという生涯学習推進事業（生涯を通じた学習体制を整えるま

古代のロマンと歴史の探訪ツアー
いま「ふるさと講座」が大人気！

実際には九月四日の現地研修を入れると、六回になります。講座の様子を順を追って、ご紹介しながら、さらに村の良さ、すてきな再発見してもらうため、これからの講座メニューなんか合わせてご紹介し

まずは岩室村の自然や古代を知ることから

七月二日に開かれた第一回の講座では、青陵女子短期大学の長嶋義介助教授が、約七十人の受講者に対し、「岩室村の自然と風土」をテーマに講演しました



福島 賢さん (県済産社教主事 社会教育)

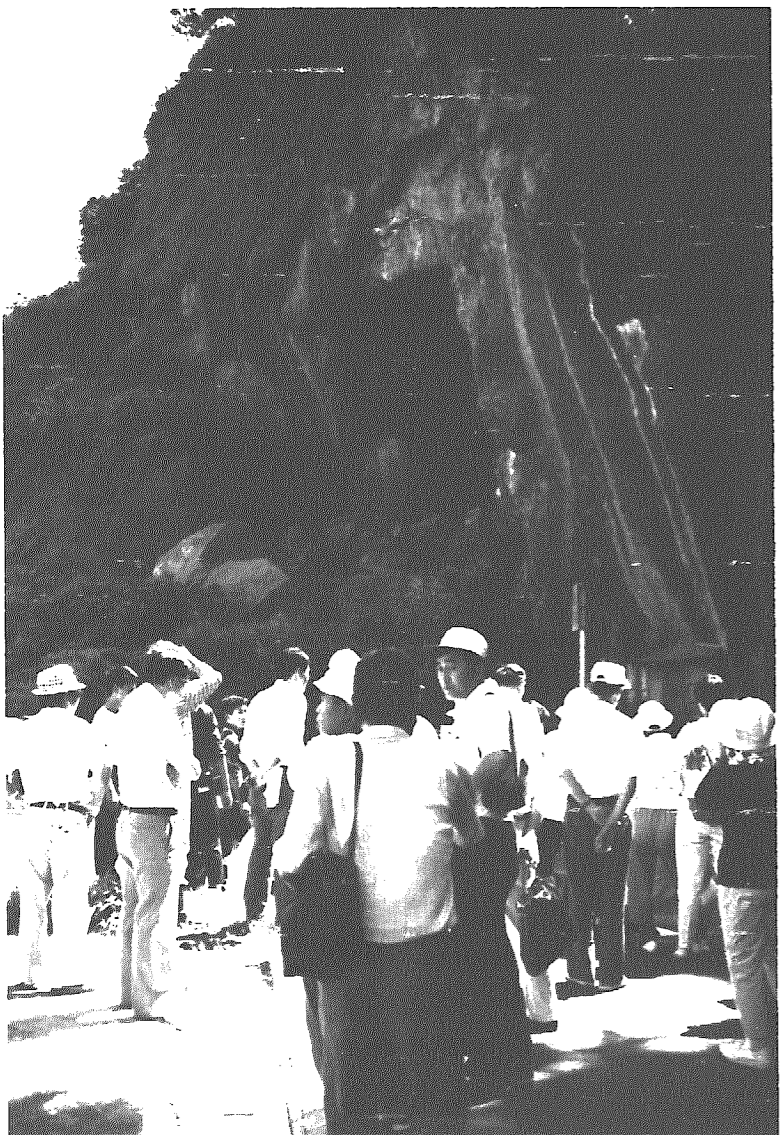
好評のふるさと講座 訪れるよりなれ岩室。で訪れる、たぐさんの人々。岩室って、どん谷村なの温泉はいつから知られるようになったら

は、三条商業高校の桑原正史さんが、古代の蒲原地方について解説。とくに「古事記」に出てくる白鳥伝説の「①和那美の水門」

それは単に古墳群がない？のではなく、熱心にそれらの発見や発掘に挑む姿勢がうすいのでは？という人材不足と村など行政側の取り組み方の遅れといった指摘もあり

現地研修なんかも取り入れてより実践的講座

ほとんどのところにある旧間瀬銅山跡（初代の越後七浦観音像の立っていたところ）で銅山の話



間瀬下山海水浴場前では、間瀬石（かまどなどに利用されました）の石切り場を検証。実際に穴の中にも入ってみました（9月4日）。

②縄文時代…縄文式土器を標式とする新石器時代。紀元前8000年から数千年間続き、弥生時代と交代する。

①和那美の水門…「古事記」に載っている白鳥物語に出てくるもので、網を張って白鳥を捕えた所といわれ和納の可能性も…。